



姉水

発行所
滋賀県長浜市宮部町 2410
滋賀県立虎姫高等学校内

姉水会

〒529-0112
TEL 虎姫 0749-73-3055(代)

印刷 株式会社サラト

これからの 100年に向けて

姉水会会長 大塚 敬一郎



昨今の今頃、1年後にはこのコロナ禍は終息していると思っていまして、この原稿を書いている今日現在(7月27日)、オリンピックは開催されましたがコロナ感染者の数は増え続けています。

この1年半ほどは今まで経験したことがない本場に異常な生活の毎日でした。今まで当たり前になってきたことが、「コロナ禍」という事態によって何ごとにも普通にできなくなっていました。

本来ですと昨年(2020年)11月に行うはずだった虎姫高校100周年の記念式典と祝賀会も1年延期となり、昨年の姉水会会報では「2021年の11月7日に行う」と皆様にご報告していました。しかし、今年も今のところコロナは終息していません。そこで、今年11月7日には生徒たちと教師、役員のみが出席し、学校において式典を行うことにしました。姉水会会員の皆様に参加いただく祝賀会は、総会と併せ来年2022年3月に開催することを100周年実行委員会が決めさせていただきましました。また、100周年事業として企画していました4項目、

①同窓会館である「姉水会館(セミナーハウス)」の建て替えの推進
②次世代を担う生徒たちのための「姉水会

奨学財団」の設立

③100周年記念式典・講演会の実施

④100周年記念誌発行

につきましては、次のように実施する予定です。

①セミナーハウスは2022年3月に完成予定です。部活の宿泊所やネット環境が整ったセミナー室として活用が期待されます。

②奨学財団は、昨年7月1日に税額控除が得られる「公益財団法人姉水会奨学財団法人」として滋賀県知事から認可をいただきました。しかし、この財団の基金となる募金についてはコロナ禍ということで思うように集まっています。

ワクチン接種が進み集団免疫ができれば懸念の募金活動を開始し、皆様のもとへ各委員がお願いにあがることになると思います。その節はご協力をよろしくお願い致します。

③記念式典については、生徒が企画した内容で体育館において行います。参加者は、密にならないよう生徒を中心とした人数に限定し、式典の模様をYouTubeで配信できないか検討しています。

④皆様から沢山ご提供いただいた思い出の写真や文が掲載されている記念誌は、式典と併せ発行いたします。ホームページからも閲覧できるようにいたしますので是非ご覧ください。

私たちの「虎高」は創立以来100年間、この湖北の地において「質実剛健」の校風のもと数多の人材を輩出してまいりました。これからの100年も世界に向けた人材を出し続けることができるよう、姉水会皆様の熱い応援を願ってやみません。

ご挨拶

校長 梅本剛雄



姉水会員の皆様方におかれましては、平素より本校教育の発展のために、多大なご支援やご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染状況がなかなか収束せず、不安な日々が続いていますが、まず最初に本校にとって大変名誉で、嬉しいご報告をいたします。既にご存じの方も多いとは思いますが、本校五十三回卒業生の清水千浪選手が、今回の東京二〇二〇パラリンピック車いすバスケットボール女子で日本代表選手に選出されました。私は日ごろから生徒に、「伝統の良さは、自分たちの目の前にすばらしいモデルが存在し、自分もそうになれる、そうになりたいと実感できる環境にあること」と話していますが、清水選手は、まさしく生徒の目標であり、今後益々のご活躍を期待するとともに、生徒には、是非こうした諸先輩方に憧れを抱き、自分の将来に向かって突き進んでほしいと考えています。

また、生徒たちにはこうした感染状況にあるからこそ、「大胆かつ繊細」と「知恵と創造」という二つのメッセージを送っています。これは、「今の状況を何もできないと嘆くよりも【大胆に（思い切つて）】活動しよう。しかし、【繊細に（新型コロナウイルス感染拡大防止対策を含めて、綿密な計画のもとに）】実行しよう。そしてこんな時こそいかにされるのが、【知恵と創造】であり、みんながその力を結集して、果敢に挑んでい

う」というものです。こうした中で、昨年度実施できなかった虎祭（文化祭と体育祭）を、生徒会が中心となつて七月に見事に実施してくれました。この中には古着を集めて、ワクチンを提供するという「古着でワクチン」や、本を回収してその費用を寄付する「チャリティー本」といった、社会に関わりを持ち、貢献していく企画にも取り組んでくれました。さらに、新型コロナウイルスの影響で一年延期となり、本年十一月七日に実施予定の百周年記念式典も、生徒が企画・進行を行い、まさに虎姫高校らしいすばらしいものにしたと考えております。引き続きご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

次にこの場をお借りして、本校の主な取り組みを少しご報告いたします。

まずは、昨年度開設しました「国際バカロレアワールドスクール」の取り組みです。ご存じのように、これは西日本の公立高校では初めて認定いただいたもので、現在第一期生七名は二年生になり、本格的にこの教育プログラムの授業を受けています。生徒は多くの課題に奮闘しながらも、自ら課題を見つけ学んでいくスタイルの学習を積み重ねることで日々成長しており、彼らの姿を見ることで改めてこの実践の素晴らしさを実感しています。今後は来年十一月に実施されます国際バカロレアの資格試験に向けて、より充実した教育に努めていきます。なお、姉水会の皆様方におかれましては、創立百周年記念事業の一環といたしまして「公益財団法人姉水会奨学財団」を立ち上げていただき、国際バカロレア奨学金をはじめ、本校教育活動の充実に向けてご支援いただいております。改めてお礼申し上げます。

また、平成二十八年度に文部科学省より指定されたスーパーサイエンスハイスクール事業

（SSH）は、今年度第二期の最終年度（通算十年目）を迎えます。本事業により、高大連携や授業改善等、本校の教育活動は大きく発展しました。今後は第三期申請に向け、より専門性の高い研究に挑戦したり、地域の方々や企業との連携を強化したりすることで、一層充実した教育を目指していきたいと考えております。

さらに、部活動では、学習との両立のために限られた活動時間ではありますが、新聞部の三年連続全国最優秀賞受賞をはじめ、多くの部が近畿大会等の上位大会に出場するなど、生徒たちは実に前向きに取り組んでいます。今後も地域の中核を担う進学校として、生徒一人ひとりがグローバルな視点とともに地域への愛着も持ち、将来において世界や社会に貢献できる人になれるよう、引き続き教育に邁進していきたいと考えております。

なお、先ほどもお話ししましたように、延期しておりました百周年記念式典は、本年十一月七日（日）に本校体育館で実施する予定であります。感染拡大の状況により、どのような形式の式典になるかは未定ですが、生徒たちと知恵を合わせ、皆様方に喜んでいただけるような式典になるよう努めてまいります。全世界の人々が今の状況を乗り越え、皆様方と一緒に百周年記念をお祝いできますよう心から願っております。

最後に、これまでより本校に熱い思いでご支援いただいている方々や、ご寄付をいただいた方々には改めて感謝申し上げますとともに、教員や生徒には、こうした皆様方の母校への思いをしっかりと伝え、今後も本校のために、全力を尽くしていく所存です。本会の益々の発展と、会員の皆様方のご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

令和3年度「姉水会」総会のご案内

お帰りなさい虎高へ

期 日 令和4年3月19日(土) 「創立百周年記念祝賀会」と兼ねて実施予定

場 所 ホテル&リゾート長浜（旧：長浜ロイヤルホテル）長浜市大島町38 TEL 0749-64-2000

※ご参加いただける方は、同封の「百周年記念祝賀会」出席はがきをご返送ください。ご返送いただいた方には、詳しいご案内を令和4年2月末までにさせていただきます。

※新型コロナウイルス感染状況によって、令和3年度の姉水会総会は姉水会理事会をもって代える場合があります。その場合は、令和4年2月末までに虎姫高校HPでご案内させていただきます。

虎姫高校創立百周年 記念式典・祝賀会のご案内

新型コロナウイルス感染拡大にともなって、令和3年度に延期していましたが『滋賀県立虎姫高等学校創立百周年記念式典・祝賀会』を、下記の日時・場所・内容で開催いたします。虎姫高校同窓生の姉水会会員の皆様には、ご案内が遅くなり申し訳ありませんが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

◎創立百周年記念式典

日 時：令和3年11月7日（日）13：30から

場 所：虎姫高校体育館

内 容：感染対策上参加者を限定し、現在の虎姫高校生徒と教職員および姉水会役員のための参加、企画・運営は虎姫高校生徒が執り行う。

備 考：記念式典の模様をYouTubeで配信できないか検討中。

《配信可能な場合：10月末日までに下記のHPにてご案内します》

◎創立百周年記念祝賀会

日 時：令和4年3月19日（土）13：00から

場 所：ホテル&リゾーツ長浜（旧：長浜ロイヤルホテル）

長浜市大島町38 TEL 0749-64-2000

内 容：虎姫高校同窓生である姉水会会員の皆様とご来賓、および現在の虎姫高校関係者が一堂に会し、創立百周年を祝う。

備 考：令和3年度姉水会総会と兼ねて開催する。

祝賀会（総会）にご出席あるいは参加を予定していただける方は、同封の『返信はがき』に卒業回（卒業年）、お名前（フルネーム）を明記し、あわせて祝賀会詳細のご案内方法をご選択いただきご送付ください。感染状況による中止を含め祝賀会詳細（日程・会費等）については、『返信はがき』をご送付いただいた方のみのご案内（2月末日までに郵送またはメールにて）となります。なお祝賀会詳細については下記のHPに掲載させていただきます。

○滋賀県立虎姫高等学校HP
<http://www.torahime-h.shiga-ec.ed.jp/>

○『虎姫高等学校創立百周年記念事業』
（姉水会奨学財団）に関するHP
<https://100th.torahime-shisuikai.org/>



百周年記念事業募金

令和3年8月20日現在

「百周年事業実行委員会」口座への募金は、

7,578,866円のご協力をいただいています。
（端数は学年別同窓会の残金をご寄付いただきました）

「公益財団法人 姉水会奨学財団」口座への募金は、

13,890,500円のご協力をいただいています。

多くの方にご協力いただきありがとうございます。

今後も引き続き「公益財団法人 姉水会奨学財団」への募金をご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和2年度姉水会総会報告 高30回中西恭子さん副会長に選出

令和2年度の姉水会総会は、新型コロナウイルス感染症防止に配慮しながら、令和2年11月7日(土)にホテル&リゾート長浜にて開催されました。黙祷、挨拶、議長選出に続く協議事項1番として、副会長選出についてご協議いただきました。同年4月に、長きにわたり姉水会副会長をお勤めいただいた高15回笹原那智子様のご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りするとともに、笹原様には姉水会に対して多大なるご貢献をいただきましたことを深く感謝申し上げます。ご逝去にともない空席となっておりました副会長に、高30回長浜市高田町の中西恭子さんが満場一致で選出されました。これにより、高17回大塚敬一郎会長のもと、副会長に高17回橋本圭祐さん、高20回関谷松男さん、高28回沢田昌宏さん、高30回中西恭子さん、高37回宮島正典さんの5名体制となりました。その後、協議事項2・3番として令和元年度事業報告、決算・監査報告が拍手で承認されました。続いて協議事項4番として、虎姫高校梅本剛雄校長(高32回)から創立百周年事業について、1年延期となった経緯や令和2年6月18日付で「姉水会奨学財団」が滋賀県知事より公益財団法人として認定されたことなどの報告がありました。

ご参加いただいた方(敬称略)
「高7」小寄 外史・西岡 義夫、「高16」野田 藤雄、「高17」橋本 圭祐・大塚敬一郎・伊吹宏・中川 正、「高18」速水 敏行・伊藤 光男・大橋香代子、「高19」月ヶ瀬義雄・梶村 光喜、「高20」関谷 松男・清水 実、「高22」中川 勇・中村 喜隆・中川 正、「高23」西嶋 博純・西嶋 栄治、「高25」北村 悦子、「高28」大橋 通伸・根尾 昇・鈴木富美代・白井 洋子・和田美紀子・八木ひとみ・沢田 昌宏、「高29」三上保彦・水上定芳、「高30」中西恭子・浅見宣義・片桐 一郎・押谷 洋子、「高31」廣脇 正樹・北川あさ子、「高32」梅本 剛雄・山崎 正直・水上 敏彦・篠宮 寿夫・寛聡、「高34」押谷喜美子・岩崎 俊裕、「高36」田濃 良和、「高37」中瀬 一輝・宮島 正典・南部 康弘、「高38」横田 亨・菅原 信章・塚田 豊、「高39」村中 隆之・速水 一生・遠藤 健、「高41」松居 慶浩、「高42」川島 隆二、「高43」宮川 清行、「高46」山根 孝子、「高48」福永 紘治・川田 昌史、「高50」松宮 誠也、「高53」澤村 祥太、「高60」宮田 崇弘・大橋 延行・前嶋 誠・今宿 等、川崎美佐子

令和3年度 姉水会役員 (敬称略)

令和3年度 姉水会校内役員

役 職	氏 名	卒回
会 長	大塚敬一郎	高17
副 会 長	橋本 圭祐	高17
	関谷 松男	高20
	沢田 昌宏	高28
	中西 恭子	高30
	宮島 正典	高37
顧 問	前川 一郎	高 7
	木下 善正	高14
	野田 藤雄	高16
	水上 敏彦	高32
	根尾 昇	高28
	梅本 剛雄	高32
監 事	本城 善男	高18
	鈴木富美代	高28
理 事	瀬邊 勲	高 2
	村田 洋	高14
	大橋香代子	高18
	速水 敏行	高18

役 職	氏 名	卒回
理 事	清水 実	高20
	中川 勇	高22
	北田 康隆	高23
	坂井 久泰	高26
	河崎 仁美	高30
	清水 金幸	高31
	原田 健司	高34
	押谷喜美子	高34
	吉田 佳司	高35
	廣部宇一郎	高36
	速水 一生	高39
	遠藤 健	高39
	松居 慶浩	高41
	馬場 鋭州	高42
	村田 寿郎	高43
	川田 昌史	高48
	松宮 誠也	高50

役 職	氏 名	卒回
教 頭	田濃 良和	高36
事 務 長	川崎美佐子	
総 務 (百周年事務局)	○篠宮 寿夫	高32
	○南部 康弘	高37
	○菅原 信章	高38
	細井 剛	高36
	澤井 俊孝	高27
	寛 聡	高32
	高橋 英樹	高56
(会 計)	宮田 崇弘	高60
(会 計)	上杉 真代	高62
	五十嵐 聡	高64
会 員 名 簿	○宮部 睦美	高49
	松村 大介	高59
	山根 孝子	高46
会 報	○岩崎 俊裕	高34
	○塚田 豊	高38
	川瀬 千津	高43
	富岡 正臣	高45
(記 念 誌)	吉田 晴洋	高36
(記 念 誌)	杉本 智子	高46
(記 念 誌)	川村 洋輔	高58
姉 水 会 館	○澤村 祥太	高53
	徳原 真也	高63

同窓会だより『日東第一だより』の 原稿募集 について

新型コロナウイルスが落ち着き、旧交を温めあう同窓会を開催されました折には、その様子を本紙の『日東第一だより』にてご紹介ください。ご紹介いただける場合は、姉水会事務局まで原稿(できれば写真1~2枚も)をお寄せください。よろしくお願いいたします。

※毎年5月上旬が原稿締切になっています。

※姉水会事務局

TEL 0749-73-3055 (虎姫高校)

FAX 0749-73-2967 (虎姫高校)

e-mail : torahime-h.sisui@pref-shiga.ed.jp



母校は

※ 紙面の都合上、全ての大学は掲載していません。

※ 紙面の都合上、全ての大学は掲載していません。

十年勤続・篠宮 寿夫 先生

令和3年度



姉水会奨学財団への募金のお願い

※創立百周年記念事業の一環として設立いたしました『公益財団法人姉水会奨学財団』への募金を、同封の振込用紙にてよろしくをお願いいたします。

※従来、会報「姉水」にあわせてお願いしていましたが『運営協力金（1口2,000円）』は、『公益財団法人姉水会奨学財団』への募金に移行させていただきます。

■募資金額

個人：『公益財団法人姉水会奨学財団』への募金は、多くの方にご賛同いただくことを目標としております。金額の多寡にかかわらずご協力をお願い申し上げます。

法人：1口の金額は特に定めておりません。

■税制上の優遇措置について

『公益財団法人姉水会奨学財団』へのご寄付は、寄付金控除等の対象となります。

《個人による寄付の場合》

個人が寄付をした場合、確定申告を行なうことで、①寄付金控除（所得控除）又は、②寄付金特別控除（税額控除）のいずれか有利な方を選ぶことができ、**所得税が減額されます。**（概ね②が有利ですが、各人の所得などによって①が有利になる場合があります）

例）5万円を寄付した場合（②税額控除方式）

所得税の減税額 = (50,000円 - 2,000円) × 40% = 19,200円

※実質約30,000円で50,000円の寄付効果があります。

《法人による寄付の場合》

法人による寄付の場合、特定公益増進法人に対する寄付に分類され、その他一般の寄付金とは別枠で**「損金の額」に算入することができます。**

※いずれの場合も、税務申告の際に公益財団法人発行の領収書が必要です。

■税制上の優遇措置をご利用予定の場合は、同封の振込用紙「通信欄」の『領収書必要』に必ず「○」印をお願いします。振込確認後、「通信欄の訂正届欄」（空白の場合は「ご依頼人欄」）記載の住所氏名宛に領収書を郵送いたします。「○」印がない場合は、受領証をもって領収書に代えさせていただきます。

■他行から振込の場合【同封の振込用紙はゆうちょ銀行専用です。ご注意ください】

ゆうちょ銀行、店名：〇九九《ゼ トラヒメ》、預金種別：当座

口座番号：0238673

口座名義：公益財団法人姉水会奨学財団《ザイ シスуйカグダン》

※他行から振込をしていただいた場合は下記連絡先まで、

卒業回（卒業年）、お名前、領収書の要・不要（要の場合は送付先住所）等をお知らせください。

《連絡先》 TEL：0749-73-3055（滋賀県立虎姫高等学校）

e-mail：torahime-h.sisui@pref-shiga.ed.jp